ICT 通信
第5号

学びWEB中東

令和５年９月２９日（金）
足立区立中川東小学校
校長　豊田　純子
ICT 担当　前田　康介

タブレット学習は便利だけど・・・

情報が容易に得やすくなっている今､子供たちに対するICT教育の必要性がさらに高まり、タブレットを用いたタブレット学習が広がっています。最近では幼児教育にタブレットを用いている幼稚園や保育園もあると話を聞きました。タブレット学習を、より効果的な取組とするために、今一度タブレット学習のメリットやデメリットに目を向けてみましょう。

動画の説明がわかりやすい！！

タブレット学習では、動画を使った学習が可能です。授業者が言葉で伝えたり、黒板に板書したりするだけでは伝わりにくい内容も、動画やアニメーションを用いることでわかりやすく伝えることができます。また、動画のメリットは、何度でも繰り返し見ることができる点です。わからないことや興味をもった内容について繰り返し閲覧することで、理解や興味を深めることができます。

理解度に合わせて学習できる！！

タブレット学習（ＡＩドリル）では、子供たちの理解度に合わせて学習を進めることができます。理解できなかった部分については、タブレット学習を利用して振り返りながら理解を深めることができます。また、予習や復習に活用するなど、空いた時間を有効に利用して学習できる点もタブレット学習を取り入れるメリットです。

でも…健康への影響が心配！？

米ハーバード大学医学大学院が研究した結果によると、タブレット端末の液晶画面から発せられるブルーライトによって睡眠の質が低下することがわかっています。視力低下や睡眠不足に繋がる恐れがあるため、特に長時間の使用や寝る前の使用には十分に気をつけなければいけません。

紙に文字を書く機会が…！？

普段の勉強をタブレット学習だけで完結させてしまうと、紙に文字を書く機会が減ります。その結果、文字を書くことが下手になったり、漢字が書けなくなったり、紙に文字を書くことで思考をまとめるという作業ができなくなったりする可能性があります。また、紙に文字を書く機会が減ってしまうことで、文章による表現力が低下してしまうことが懸念されます。

そこで中川東小学校では、以下のルールを決めてタブレットを活用しています。

①タブレット等を見るときは、目をタブレットから30㎝以上離す。
②30分に１回はタブレット等の画面から目を離して、20秒以上遠くを見る。
③ぐっすり寝るために、寝る１時間前からはタブレット等を使わない。
＊年度初めに配布した「みんなで守る３つの約束と１０のルール」をご確認ください。

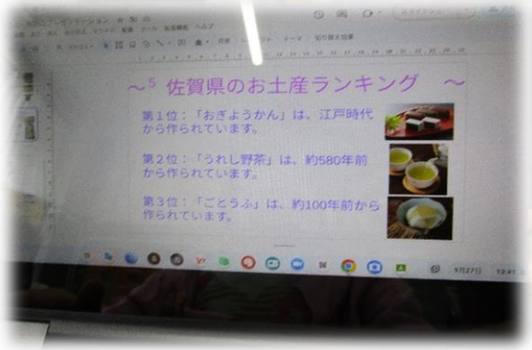
アニメーションだってお手の物！

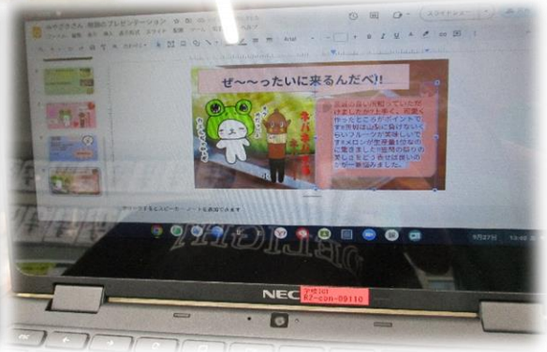
４年生は、総合的な学習の時間で発表するための資料を、タブレットを活用して作成しています。

アニメーションは、どのタイミングで、どのような動きでなど、様々な効果を考えながら作成する必要があります。常に、「どのような見せ方が聞き手や読み手を惹きつるのか」というような相手意識をもっているため、子供たちの表現力を自然と育むことができます。

集中して、一生懸命に、何よりも楽しみながら、自分の調べたことやクラスのみんなに伝えたいことを作成している姿がすてきだなと感じました。子供たちが、意欲的に学習や活動に取り組む中で、多様な力を育むことができる点がタブレット学習の良さだと思います。

見出しを工夫したり、最も伝えたいところは色を変えたり、聞き手や読み手にわかりやすく伝えるために写真を添付したり…アニメーションだけでなく色々な工夫を取り入れていますね！まるでホームページの一部を作っているようです！





これまで以上に大切に…

日頃から、タブレット端末やＡＣアダプタ（充電器）などを大切にご活用いただきありがとうございます。現状、本校で保管しているタブレット端末やＡＣアダプタですが、ほとんど予備がない状態です。

そのため､万が一破損や故障があった場合､タブレット端末に関しては一度お預かりして、代替え機が手元に届くまで最長一か月程度かかることがあります。また、ＡＣアダプタに関してはＴｙｐｅ-Ｃケーブルをご家庭でご用意いただく可能性もあることをご承知おきください。

今後も引き続き、大切に扱っていただきますようご家庭でもお声かけをよろしくお願いいたします。